



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月2日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神澤 陸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 佐藤 公衛 (TEL) 0263 (25) 9081  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	15,860	0.6	2,066	22.5	2,376	8.4	1,246	0.9
22年3月期第1四半期	15,768	3.8	1,686	△20.0	2,193	△17.3	1,235	△16.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	22.97	—
22年3月期第1四半期	22.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	145,860	123,442	84.5	2,271.15
22年3月期	147,022	124,221	84.4	2,285.37

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 123,266百万円 22年3月期 124,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	30,300	△4.3	2,000	△48.3	2,400	△41.8	1,500	△37.7	27.64
通期	65,800	5.8	6,600	0.2	7,300	1.1	4,700	7.5	86.60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	56,911,185株	22年3月期	56,911,185株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	2,636,302株	22年3月期	2,635,681株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	54,275,040株	22年3月期1Q	54,291,510株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
5. 補足説明資料	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制施策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算が試行的に導入される一方で長期収載医薬品の追加引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資の抑制や個人消費の低迷など、内需の停滞を背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	15,768	15,860	0.6
営業利益 (百万円)	1,686	2,066	22.5
経常利益 (百万円)	2,193	2,376	8.4
四半期純利益 (百万円)	1,235	1,246	0.9

医薬品事業の売上高は、144億3千8百万円（前年同期比5.9%増）となりました。薬価基準引下げの影響などにより既存製商品の売上高が減少いたしました。前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ」、糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」が引き続き伸長いたしましたほか、技術料売上が増加いたしました。また、日本ケミカルリサーチ株式会社と共同開発を行い本年1月に製造販売承認を取得いたしました腎臓病治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」につきましては、本年5月27日に新発売いたしました。このほか、昨年11月に中国において輸入承認を取得いたしました糖尿病治療薬ミチグリニド（一般名、日本製品名グルファスト）につきましては、独占的開発販売権を供与しておりますエーザイ株式会社により、本年4月に販売に必要な補充申請の許可が取得されました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、本年1月にEC（欧州委員会）より販売承認を取得していましたが、本年6月にドイツ国内において製品名「UROREC<sup>®</sup>」として新発売いたしました。

その他の事業の売上高は、14億2千2百万円（前年同期比33.5%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

利益面では、医薬品事業での増収や売上原価率の低減などの増益要因がありました一方で、投資有価証券評価損及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の計上などの減益要因がありました。

研究開発の状況につきましては、本年4月に糖尿病治療薬（グルファストと $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤との配合剤、開発番号KMV-0207）の承認申請を行いましたほか、同月にプロトックス社（カナダ）が開発中の前立腺肥大症治療薬「遺伝子組換え型プロアエロリシン」につきましては、国内での独占的開発販売権を取得する契約を締結いたしました。このほか、各テーマの研究開発を推進しております。なお、第Ⅲ相臨床試験を実施していただきました過活動膀胱治療薬（開発番号KUC-7483）につきましては、開票の結果、有効性について期待した結果が得られませんでした。今後、試験成績について詳細な検討を行い本薬の開発に関する判断をいたします。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,458億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6千1百万円減少しました。流動資産は864億1千1百万円となり、7億7千1百万円増加しております。主な要因は流動資産「その他」に含まれる前払費用が減少しました一方で、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによりです。固定資産は594億4千9百万円となり、19億3千3百万円減少しております。主な要因は時価評価により投資有価証券が減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は224億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千2百万円減少しました。流動負債は165億1千2百万円となり、3億9千8百万円増加しております。主な要因は支払手形及び買掛金が減少しましたが、流動負債「その他」に含まれる未払金が増加したことによりです。固定負債は59億6百万円となり、7億8千万円減少しております。主な要因は固定負債「その他」に含まれる長期未払金が減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,234億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千8百万円減少となりました。主な要因はその他有価証券評価差額金が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.4%から84.5%となりました。

## 2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より4億7千1百万円増加し、当第1四半期連結累計期間末では491億5千2百万円（前連結会計年度末比1.0%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比33億6千9百万円減の18億1千3百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加及びその他流動負債の増加などの資金の増加要因はありましたが、売上債権が増加したほか、法人税等の支払額が増加したことなどによります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期比1億6百万円支出減の6億1千5百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出は増加しましたが、投資有価証券の取得による支出が減少したことなどによります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比1億4千7百万円支出減の7億2千4百万円の支出となりました。主な要因は、株主配当金の支払いは増加しましたが、長期借入れによる収入があったことなどによります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

医薬品事業における技術料売上におきまして、所期に予定しておりました売上計上時期のタイミング差異などがありましたことから、当第1四半期連結会計期間における業績につきましては利益の進捗が先行しておりますが、平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月11日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. その他の情報

### （1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### （2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### （棚卸資産の評価方法）

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、貯蔵品等一部の棚卸資産において実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

### （3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### （資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,093	22,644
受取手形及び売掛金	22,474	22,062
有価証券	26,097	26,097
商品及び製品	4,952	4,818
仕掛品	325	270
原材料及び貯蔵品	3,507	3,441
繰延税金資産	2,693	2,412
その他	3,270	3,905
貸倒引当金	△2	△13
流動資産合計	86,411	85,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,961	35,808
減価償却累計額	△23,922	△23,653
建物及び構築物(純額)	12,038	12,154
土地	13,367	13,368
建設仮勘定	141	23
その他	13,666	13,624
減価償却累計額	△11,486	△11,343
その他(純額)	2,180	2,281
有形固定資産合計	27,727	27,827
無形固定資産	1,711	1,810
投資その他の資産		
投資有価証券	27,357	29,610
繰延税金資産	1,160	405
その他	1,537	1,774
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	30,010	31,744
固定資産合計	59,449	61,382
資産合計	145,860	147,022

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,317	5,623
短期借入金	2,305	2,213
未払法人税等	1,205	2,300
賞与引当金	1,021	2,045
その他の引当金	620	699
その他	6,041	3,230
流動負債合計	16,512	16,114
固定負債		
長期借入金	1,364	1,294
繰延税金負債	—	168
退職給付引当金	3,759	3,719
役員退職慰労引当金	108	115
資産除去債務	111	—
その他	562	1,389
固定負債合計	5,906	6,686
負債合計	22,418	22,801
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	75,960	75,582
自己株式	△4,337	△4,336
株主資本合計	120,234	119,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,032	4,182
評価・換算差額等合計	3,032	4,182
少数株主持分	175	181
純資産合計	123,442	124,221
負債純資産合計	145,860	147,022

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	15,768	15,860
売上原価	5,585	4,769
売上総利益	10,183	11,090
返品調整引当金戻入額	21	62
返品調整引当金繰入額	14	73
差引売上総利益	10,190	11,080
販売費及び一般管理費	8,503	9,014
営業利益	1,686	2,066
営業外収益		
受取利息	38	17
受取配当金	266	328
有価証券評価益	245	—
その他	16	47
営業外収益合計	567	393
営業外費用		
支払利息	12	11
有価証券評価損	—	63
為替差損	47	4
その他	1	2
営業外費用合計	60	82
経常利益	2,193	2,376
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	4
特別損失		
投資有価証券売却損	94	—
投資有価証券評価損	15	237
減損損失	312	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	110
その他	0	13
特別損失合計	422	362
税金等調整前四半期純利益	1,770	2,018
法人税、住民税及び事業税	947	1,135
法人税等調整額	△410	△357
法人税等合計	537	777
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,241
少数株主損失(△)	△2	△5
四半期純利益	1,235	1,246

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,770	2,018
減価償却費	794	715
引当金の増減額(△は減少)	△901	△1,081
減損損失	312	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	110
受取利息及び受取配当金	△305	△345
支払利息	12	11
為替差損益(△は益)	0	1
有価証券評価損益(△は益)	△245	63
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1
固定資産処分損益(△は益)	0	13
投資有価証券売却損益(△は益)	94	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	15	237
売上債権の増減額(△は増加)	2,011	△411
たな卸資産の増減額(△は増加)	399	△255
その他の流動資産の増減額(△は増加)	295	600
仕入債務の増減額(△は減少)	△545	△305
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,595	3,224
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△0	△862
その他	3	0
小計	5,307	3,732
利息及び配当金の受取額	282	322
利息の支払額	△14	△13
法人税等の支払額	△392	△2,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,182	1,813
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△21	△31
定期預金の払戻による収入	50	54
特定金銭信託の払戻による収入	—	41
有価証券の売却及び償還による収入	0	—
有形固定資産の取得による支出	△393	△800
有形固定資産の売却による収入	2	6
国庫補助金等受入による収入	159	159
無形固定資産の取得による支出	△74	△80
投資有価証券の取得による支出	△728	△14
投資有価証券の売却及び償還による収入	274	36
貸付けによる支出	△55	△53
貸付金の回収による収入	68	67
長期前払費用の取得による支出	△0	△0
その他	△4	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△721	△615

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	100
短期借入金の返済による支出	△100	△8
長期借入れによる収入	—	115
長期借入金の返済による支出	△24	△45
リース債務の返済による支出	△26	△16
自己株式の取得による支出	△6	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△814	△868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△872	△724
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,587	471
現金及び現金同等物の期首残高	42,613	48,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,201	49,152

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,628	2,139	15,768	—	15,768
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	783	783	(783)	—
計	13,628	2,923	16,552	(783)	15,768
営業利益又は営業損失 (△)	1,675	△30	1,644	42	1,686

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、医薬品事業を中心に事業活動を展開しており、「医薬品」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

	報告セグメント		その他(注) (百万円)	合計 (百万円)
	医薬品 (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	14,438	14,438	1,422	15,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	2	967	970
計	14,440	14,440	2,390	16,830
セグメント利益又は損失 (△)	2,055	2,055	△9	2,045

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,055
「その他」の区分の利益	△9
セグメント間取引消去	22
固定資産の調整額	1
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	2,066

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

（1）販売実績

当連結会計期間における販売実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）		当第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）		増減	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	増減率 （%）
医薬品事業						
その他代謝用薬	1,144	7.3	1,422	9.0	277	24.3
神経系用薬	947	6.0	806	5.1	△141	△14.9
感覚器官用薬	642	4.1	649	4.1	6	1.1
循環器官用薬	3,049	19.3	2,448	15.4	△600	△19.7
消化器官用薬	697	4.4	736	4.6	39	5.6
ホルモン・泌尿生殖・血液体 液用薬	3,929	24.9	4,008	25.3	78	2.0
アレルギー用薬	558	3.5	552	3.5	△5	△1.1
その他	2,659	16.9	3,813	24.0	1,154	43.4
計	13,628	86.4	14,438	91.0	809	5.9
その他の事業	2,139	13.6	1,422	9.0	△717	△33.5
合計	15,768	100.0	15,860	100.0	91	0.6
（うち輸出高）	(1,004)	(6.4)	(1,579)	(10.0)	(575)	(57.3)

（注）セグメント間取引については、相殺消去しております。

## 5. 補足説明資料

### (1) 連結決算概要

(百万円)

項目	平成22年3月期		平成23年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
売上高	15,768	62,178	15,860	0.6%	30,300	65,800
営業利益 (売上高比%)	1,686 (10.7)	6,584 (10.6)	2,066 (13.0)	22.5%	2,000 (6.6)	6,600 (10.0)
経常利益 (売上高比%)	2,193 (13.9)	7,221 (11.6)	2,376 (15.0)	8.4%	2,400 (7.9)	7,300 (11.1)
当期純利益 (売上高比%)	1,235 (7.8)	4,371 (7.0)	1,246 (7.9)	0.9%	1,500 (5.0)	4,700 (7.1)
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費) (売上高比%)	8,503 (2,766) (17.5)	33,834 (10,786) (17.3)	9,014 (3,213) (20.3)	6.0% (16.1%)	18,400 (6,620) (21.8)	36,700 (12,900) (19.6)
輸出高	1,004	1,746	1,579	57.3%	410	2,050

### (2) 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	平成22年3月期		平成23年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,071	8,706	2,276	9.9%	4,880	10,230
糖尿病治療薬 グルファスト	1,144	4,911	1,322	15.6%	2,720	5,450
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	195	828	250	28.1%	520	1,080
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	-	-	99	-	500	2,450
高脂血症治療薬 ベザトール	2,188	8,495	2,002	8.5%	4,080	8,020
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	1,213	4,876	1,131	6.7%	2,230	4,260
脳循環改善薬 キサンボン	565	2,030	446	21.0%	880	1,620
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	372	2,384	373	0.4%	910	2,320
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	465	1,909	466	0.2%	940	1,880
気管支喘息治療薬 ドメナン	93	349	86	7.3%	160	320
パーキンソン病治療薬 カバサル	871	3,092	726	16.6%	1,350	2,560
血液凝固阻剤 フラグミン	324	1,261	249	23.2%	550	1,070
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンTG点眼液	270	1,050	244	9.4%	460	890
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	162	731	177	9.5%	360	750
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	158	617	173	9.3%	310	600

### (3) 新薬開発状況(自社)

(平成22年8月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	KMV-0207	自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善	速効・短時間型インスリン分泌促進作用＋ $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ ボグリボース 配合剤
第Ⅲ相	※1 KUC-7483	創製品	過活動膀胱	$\beta$ 3受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズセラピューティックス、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
第Ⅰ相	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	シロドシン／ KSO-0400	創製品	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用	1日1回投与
	オザグレル／ KCT-0809	テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	

※前回公表時(平成22年5月)からの変更点: なし

※1: KUC-7483: 第Ⅲ相検証試験等のデータを解析中

#### (4) 新薬開発状況(導出)

(平成22年8月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認取得	シロドシン (silodosin)	シンモサ(台湾)	台湾、香港	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	※ <sup>1</sup> アセアン(10カ国)	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	第一三共(日本) エーザイ(日本)	中国 ※ <sup>2</sup> アセアン(10カ国)、インド、 スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
第Ⅲ相	ミチグリニド (mitiglinide)	エリキシア(アメリカ)	北米、中米、南米	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
		USV(インド)	インド		
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	$\beta$ 2受容体刺激作用
	トラニラスト (tranilast)	ニュオンセラピューティックス (アメリカ)	日本、韓国を除く全世界	関節リウマチ、痛風に伴う高尿酸血症	免疫調整、抗炎症、尿酸排泄促進作用
第Ⅰ相	KGA-3235	大日本住友製薬(日本)	日本	2型糖尿病	SGLT1阻害作用
		グラクソ・スミスクライン(イギリス)	欧米他		
	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	$\beta$ 2受容体刺激作用

※前回公表時(平成22年5月)からの変更点: シロドシン(台湾): 承認申請中→承認取得

※1: 承認: フィリピン、タイ/申請中: 2カ国(シンガポールでの申請は取り下げ)/申請準備中: 5カ国

※2: 申請中: アセアン2カ国